

# 特別報告 【シリーズ解体】

## 谷口雅宣 三代目総裁 によって失われられたもの その9 — 「神想観」「浄心行」等の「宗教行」の改竄

(以下、谷口雅宣氏が勝手に付け加えた文言は、赤字で表記しています)

人は「行」によって救われてゆく

尊師谷口雅春先生は、「行」即ち「行い」の伴わない信仰は空念仏で功德はない」(『人間苦の解放宣言』)と断言されています。

又、生長の家本部練成道場編『神性開発』にも、「練成会」で多くの人が救われてゆくのは、神想観、そして聖經読誦、先祖供養、祈り合いの神想観、などの「行」によるのであります」(『神性開発』徳久克己講師の文章)と書かれています。

「行」が如何に大切であるかがお分かりいただけるかと思いますが、谷口雅春先生から授けられた大切な「行」を、谷口雅宣氏は自己勝手に次々に改竄していったのです。以下、その具体例を紹介します。

### 谷口雅宣三代目総裁が改竄した「行」の数々

#### ① 「四無量心を行ずる神想観」の新バージョンの発表

谷口雅宣氏が最初に改竄した「行」が、「四無量心を行ずる神想観」です。

「四無量心」とは、「慈」「悲」「喜」「捨」の四つの無量の心のことであり、本来の念ずる言葉は次のとおりです。

『われ今五官の世界を去つて実相の世界に入る。』

神の無限の智慧の海……  
神の無限の愛の海……  
神の無限の生命の海……  
神の無限の供給の海……  
神の無限の悦びの海……



神の無限の調和の海……」

『わが心、神の無限の愛、仏の四無量心と一体にして、虚空に拡がり宇宙に満ち、すべての衆生をみそなわして、その苦しみを除き、悩みを和らげ、樂を与え喜びを与えんと欲するのである。』  
『一切衆生の苦しみは除かれ悩みは和らげられ樂は与えられ喜びは与えられたのである。』  
『(詳説神想観)』

平成21年に総裁に就任した雅宣氏は、翌平成22年の新年祝賀式において、この念ずる言葉に、次の文言を付け加えたのです。分かりますか、やすいよう、本来の念ずる言葉には無かった文言を赤字で表記します。

「わが心、神の無限の愛、仏の四無量心と一体にして、さらに虚空に広がり宇宙に満ち、地球のすべての生命と鉱物の一切を見そなわして、その苦しみを除き、樂を与え、多様性を護り、喜びを与えんと欲するのである。」

「すでに、地球のすべての生命の苦しみを除かれ、樂は与えられ、多様性は護られ、喜びは与えられたのである。ありがとうございます。」

このように、神様から尊師谷口雅春先生へ授けられた「四無量心を行ずる神想観」を人間知によって書き加え、「新バージョン」として発表、信徒に強要したのです。

#### ② 動植物、菌類へ懺悔させる「浄心行」の改竄

浄心行というのは、「心の中にある怨みや、憎しみ、恐怖、不安、自分自身に対してとがめる心等の一切の気持を紙に書いて、聖經読誦のうちに、これを焼却する行」(『人間苦の解放宣言』)であり、この、心を浄め感謝の思いに満

ち満たせる行によって、どれほど多くの人が救われていったことでしょうか。

先導する者は「懺悔の神示」を読誦したあと、次の意味の言葉を唱えます。

「只今から神様のお導きにより浄心行をとります。行わせていただきます。」

今まで充分真理を知らずして、犯しました一切の過ち、心の底に蓄積してききました怨み、憎しみ、恐怖、嫉妬等、諸々の悪しき想念の一切を包まず記しました紙を、聖經読誦のうちに、一切を浄め給う神さまの火によって焼却するの儀により、これら悪しき想念の一切を本来の無に消滅させていただきます」(『人間苦の解放宣言』)

ところが、現代の唯物論的環境運動に毒されている雅宣氏は、次の文言を付け加えたのです。「また、人間以外の動植物、菌類に対しては、同じ「生命の星」地球を共有する仲間であることを忘れ、劣悪な環境で飼育し、また残酷な方法で殺し、あるいはそれらを他人にさせることで自らの良心の呵責から逃れる一方、肉食や動物虐待を顧みない生き方を続け、植物や菌類に対しても、不要の虐待や生物多様性を損なう行為を無頓着に行うなど、悪しき習慣を重ねてまいりました。」

(『新しい文明を築こう』中巻)



収録した『新しい文明を築こう』中巻

動植物、菌類へ懺悔させ、逆に罪意識を植えつける、こんなニセモノの「浄心行」で誰が救われるのでしょうか。

谷口雅春先生は浄心行の実修にあたり、



魂の奥底まで浄められる「浄心行」(谷口雅春先生報恩全国練成会)

